

工事期間中の避難施設について

2022年度に東京都が東京都地域防災計画を修正し、都内の避難者数推計の見直しがありました。
東京都での見直しを受け、町田市においても、2023年度に市内の避難者数推計の見直しを行い、その結果をもとに、2025年度から2027年度の工事期間中における南第二小学校に代わる避難施設の検討・調整を行いましたので、ご報告します。

(1) 南成瀬地区の避難施設別避難者数推計の実施について
町田市全体及び南成瀬地区の避難者推計の見直しの結果は、以下のとおりです。

施設名	旧避難者推計 (人)	新避難者推計※2 (人)	増減数 (人)	増減率(%)
町田市全体	52,939	38,941	▲13,998	▲26%
南第二小学校	271	273	2	1%
南成瀬小学校	658	683	25	4%
都立成瀬高校	238	239	1	-

※新避難者推計は、町田市地域防災計画（2023年度修正）に記載のもの

(2) 工事期間中の避難施設について

(1) の避難者数の推計結果を受け、2025年度から2027年度の南第二小学校に代わる避難施設は「都立成瀬高校」を想定しています。「都立成瀬高校」では、開放が可能なスペースとして、第一段階のアリーナ、柔道場、剣道場があり、合計で 535 人の収容が可能です。（「避難所における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(令和 2 年 6 月東京都)」を参考に、4 m²当たり 1 人で計算した場合、221 人の収容が可能）。

2025 年度の避難施設の移行に向け、南第二小学校を避難先とする自主防災組織に対して、2024年度に都立成瀬高校での避難施設関係者連絡会及び避難施設開設訓練を開催し、施設の活用方法等にて詳細を決定します。

そして、新たな避難先の周知については、南第二小学校を避難先とする地域住民に対して、上記連絡会及び訓練の場で行っていくとともに、地域や保護者等に対しても「まちだの新たな学校づくり通信」で図っていきます。

2028年度以降の仮校舎の成瀬小学校（旧南成瀬小学校）の代替の避難施設につきましては、現在の南第二小学校校地に完成する新たな学校を避難施設として利用することで、適切な避難施設配置を維持します。

(3) 備蓄物資の移動について

現在、南第二小学校にある備蓄物資につきましては、分散備蓄※の考え方にに基づき、2025 年度の避難施設の移行後、速やかに移動します。

※分散備蓄…地域防災拠点や指定避難所等に分散して備蓄すること

(4) 2024年度のスケジュールについて

2024年 6月以降 都立成瀬高校で避難施設関係者連絡会

2024年10月以降 都立成瀬高校で避難施設開設訓練

※避難施設関係者連絡会が終了以降、「まちだの新たな学校づくり通信」で新たな避難先の周知を行っていきます。